



## 新任職員紹介

### 畠山 美保子

6月から県北方部センターに配属されました畠山 美保子と申します。どちらかという事務系の仕事を多くしてきて、子育てが一段落したところで介護の仕事を始めたのが、福祉に関わる第一歩でした。介護福祉士と社会福祉士を取得しておりますが、まだまだ経験不足ですので、とにかく頑張ります。私は「チャンスの神様には前髪しかない」ということわざ？名言？が大好きです。

その「チャンスの神様」は、前髪はあるのに後頭部はツルツルなんですよ(笑)。だから、通り過ぎる前に前髪を掴まないと、チャンスを逃がしてしまうというわけ…。既に人生の折り返し地点をとっくに過ぎてしまいましたが、チャンスの神様の前髪を驚掴みしたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



### 梅津 直美

みなさま、こんにちは～(\*^\_^\*) 8月からふくしま心のケアセンターでお世話になることになりました梅津直美と申します♪職種は社会福祉士です。県北方部と基幹センター広報部を兼務しております、どうぞよろしくお願いいたします。



私は、対象者の方の内側にある力を最大限に引き出せるようお手伝いすること、一緒に歩き続けることをやめない支援者であること、また、福島生きづらさを減らして、生き心地のよい地域にしていく一助になることを目標としています。

趣味は踊ることだったのですが、ケガをして踊れないので、新たな楽しみを発掘中です♥最近のお気に入り、木の剪定です。この木を最大限に活かすには？と時間をかけ剪定しています。「ここを切ってください・・・」と木の声が聞こえるような気がする今日この頃です(笑)。

令和元年 10 月 17 日(木)から 10 月 23 日(水)までの 1 週間は「薬と健康の週間」です。

これは昭和 53 年(1987 年)から始まり厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会が実施している一斉行動です。薬を正しく使う大切さや、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの人を知ることが出来るよう啓発活動を行う週間になっています。

ここ数年、薬の適正使用や医療費の観点から「残薬」が社会問題となっています。特に普段の生活で「残薬」が起きると薬の“飲み残し”や“多重に飲むこと”で体調が悪化してしまう人もいます。様々な体の不調から病院へ通い体を良くしようと思って薬を飲むにも関わらず、適正に使用できなければかえって体調が悪化してしまうことになりかねません。

複数の病院へ通い、色々な薬を処方されることもあるかと思いますが、医師や薬剤師は皆さんが教えてくれなければわかりません。きちんとわかれば重複しないように気を付けたり、飲みやすいものに変更したりできることもあります。自分自身がより良い生活を送るためにも、忘れずに「お薬手帳」を持参して上手に薬を扱いましょう。



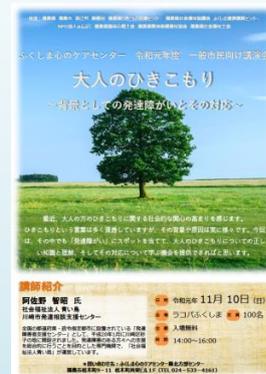
## ふくしま心のケアセンター県北方部センター 市民向け講演会

### 「大人のひきこもり ～背景としての発達障がいとその対応～」

場所：ラコパふくしま会議室 AB

時間：14:00～16:00

定員：100 名



#### 講師

川崎市発達相談支援センター所長 阿佐野智昭 氏

<講師紹介>

阿佐野氏は、神奈川県川崎市で、発達障がいのある当事者の方とそのご家族の支援に长年携わっておられます。「Think ability, not disability」(できないことではなく、できることを考える)をモットーに、ポジティブな視点で大人のひきこもりについて語って頂きます。  
どうぞご期待下さい！

問い合わせ先：ふくしま心のケアセンター県北方部センター 024-533-4161

★問い合わせ先 発行元

(一社) 福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター県北方部センター  
福島市松木町 9-11 松木町共栄ビル 1 階 (024-533-4161)  
★電話での相談 ふくこライン：024-925-8322